

公益財団法人神奈川県スキー連盟
会長 片 忠夫



さあ皆さん楽しいウィンタースポーツ
シーズン幕開けです。

神奈川県に集う Athlete、Instructor
そして Player、Charm of Ski の方
々、この冬をどう過ごすか「Good Life」
の構築に余念がないと思います。

このツールはそんな皆様の「心、行動の指標」

です。クラブ、協会、グループ、個人でお役立て頂ければ幸いです。

皆さん！大変残念で空しく悲しいことですが今、全世界でスポーツ界が揺れています。
この場で触れざるを得ない事をお許し頂きSAKの未来を見つめたいと思います。

“見る人に感動を与え、健康な身体をはぐくみ、明日を生きる活力を与えてくれるス
ポーツ”。

そのスポーツの世界で、不祥事、悪評、不始末、ハラスメントの嵐が吹き荒れ、私たちもウィンタースポーツに魅了され、こよなく愛しこの「喜び」を「楽しさ」を「美しさ」を…万人へ伝えたいとの思いが、儚く崩れ行くその醜態に驚きを通り越えて「淋しさ」と「虚しさ」を禁じ得ないのは皆さまと同じと思います。不祥事は大きく分けて役員、監督、コーチによるパワハラ。強化費個人流用。選手への差別、選手間のいじめ、ルール無視（コンプライアンス）等々です。更にドーピングのまん延と八百長、賭けスポーツが横行すれば、スポーツの価値は破壊されてしまいます。IOC、JOC、日体協、都道府県体協の任は重く、それよりも何よりも文部科学省、スポーツ庁の指導力と責任へはズシリと重くのしかかり、今こそ膿を出し切る大改革の断行の時期ではないでしょうか。各競技団体もただ選手の不祥事を防止すれば良いわけではなく、「**スポーツの価値を守るための戦い**」を早急に展開しなければならなりません。日本社会は、日本スポーツ界は「**日本の Athlete を守っていく大きな使命と任務**」があります。

SAK はダウンサイジングを推進し、定款、全規約類の整理。コンプライアンス規程類の整理も進め、ハード面、ソフト面の充実を果たしてまいりました。

SAK は世の中の流れを掴み、マーケティング手法と青少年の育成・強化をミックスさせその展開を強めました。その努力結果、かなりの成果を得られるであろう道筋が出来ました。

このレールに乗り「走り易さを追求」すれば成果は得られます。そして Hospitality に力を注ぎ、全ての事業に Incident 思想を取り入れて事業展開を進めたいと考えています。

皆様のご理解ご協力をお願いし会員、県民の幸せを切に願ってやみません。